

「ささえあい・みよし」を知ろう! Q&A

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/health/koureisya/2017-0907-1122-22.html>

▶この画像(QRコード)をケータイやスマホのカメラで読み込むと、三芳町役場ホームページの「ささえあい・みよし」のページを見ることができます。



何歳になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続ける事ができる「支え合いの地域づくり」を地域と皆さんといっしょに進めています!

No.1 秋号 (9.10.11月)

ささえあい・みよし通信

三芳町生活支援体制整備推進協議体

今号のトピックス

地域W・S*で「支え合い活動」が生まれています!!
北永井三区では「集会所を解放します」で自由な居場所が誕生!
藤久保一区ではW・Sから居場所「なかよし」が誕生!

(注) *W・S=ワークショップ:体験しながら話し合う会



▲北永井三区「集会所を開放日します」/ここに来れば誰かがいて、いろんなことやってたのしい時間を過ごせる。大人・子ども、男女の区別もありません。

▲藤久保一区「なかよし」/みんなで希望を出し合ってきた居場所!お茶飲んで、おしゃべりして、好きなことやって、盛り上がり上昇中!!

ささえあい・みよし(三芳町生活支援体制整備推進協議体)とは?

高齢者世帯や後期高齢者人口の増加にともない、公的制度・サービスの必要性や要望は、今後ますます高まる事が確実に予想されています。その一方で、サービスの担い手(労働者)不足や社会保険料(費用)の上昇も大きな心配事です。心配な将来に備え、私たちに今できることは、自分自身の「健康寿命の増進」と地域での「支え合いの仕組みづくり」です。

支え合い活動に参加することで、健康維持(健康寿命の増進)をしつつ、必要なときは誰かの助け(ささえ)を気軽に借りられる、そんな「おたがいサマの支え合い」がある地域づくりを「ささえあい・みよし」はすすめています。

5年後10年後に、どのような支え合い活動があったら安心できるか?、など、一人一人が今のうちから「自分事」として考え、行動する事が重要です!自分たちの地域に必要な(必要となる)支え合い活動はどのようなものなのか? 皆さん、一緒に考えてみませんか……。

住民W・Sへのご参加をおまちしています!

「ささえあい・みよし」
事務局・生活支援コーディネーター:
三芳町社会福祉協議会

★「ささえあい・みよし」の活動詳細は次ページをごらんください

すすめよう! 支え合いのまちづくり!

ささえあい・みよし (三芳町生活支援体制整備推進協議体)

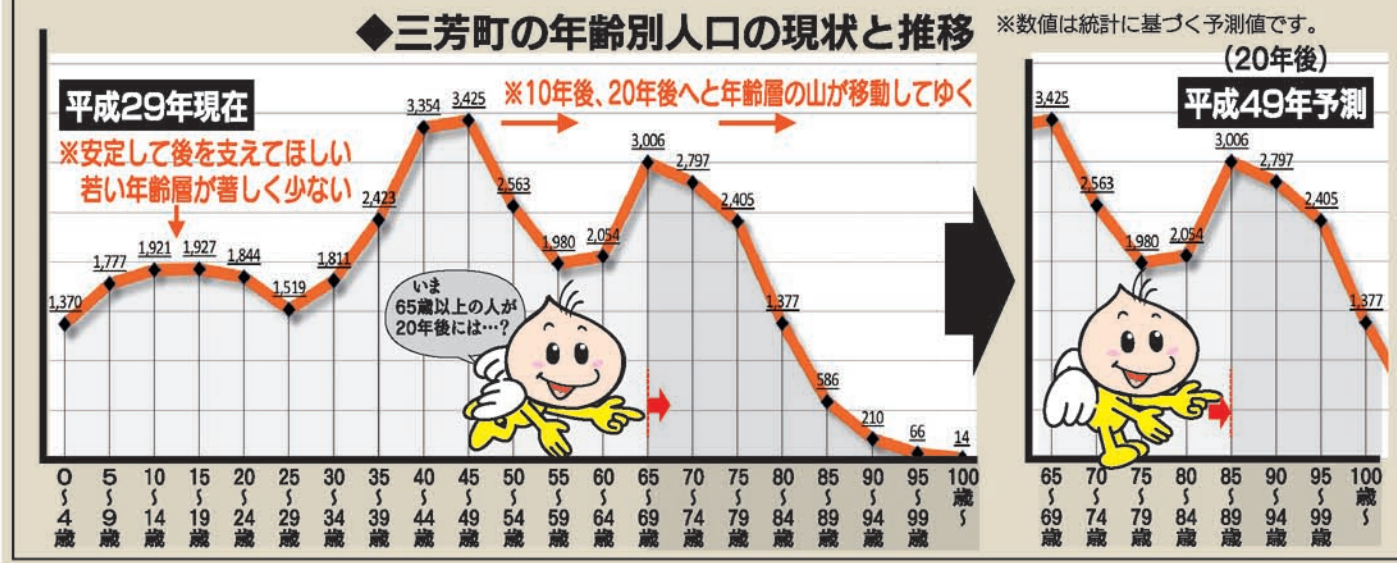
「三芳町生活支援体制整備推進協議体」のシンボルマーク

- Q1 「ささえあい・みよし」ってなんですか?**
A 「ささえあい・みよし」は、高齢者が慣れ親しんだ地域で、明るく楽しく、できるだけ長く暮らし続けられる有効な方法として、「地域での支え合い活動」を大きくしようと、協議し、地域に提案し、地域とともに進めていく組織です。
- Q2 「ささえあい・みよし」は誰がやっているの?**
A 「ささえあい・みよし」は三芳町が推進する活動です。町から委託された社会福祉協議会の「生活支援コーディネーター」と19名の委員で「協議体」を構成しています。詳しくは2ページをご覧ください。
- Q3 介護保険料を払っているのに、それではだめ?**
A 介護保険は要支援・要介護になった高齢者の介護を行うのに欠かせない大切な制度です。でも、高齢者の増加や、介護労働者の不足から、全ての人に安価で安定した介護保険サービスを提供するのが困難な時代になってきています。「ささえあい・みよし」の活動主旨は、高齢者が地域で支え合うことで生活の不便をやわらげ、健康寿命を延ばすことです。さらに、それを進めることで、必要になったときに安心して使えるよう介護保険制度を守る意味もあります。

- Q4 地域にはすでに自治会がありますが…?**
A 「ささえあい・みよし」の目的は、地域の高齢者の支え合い活動を提案し、地域づくりを進めることです。この目的でなら、自治会も地域グループもみんないっしょに支え合い活動の輪をつくれますよね。
- Q5 「支え合い」ってなにかメリットがあるの?**
A はい、あります! 楽しく明るい安心できる地域ができることです。そのなかで生まれるさまざまな年齢層の方のお付き合いは、あなたの心にきっと幸せな時間をもたらしてくれると思います。少なからず三芳町の財政にも貢献することになります。
- Q6 うちの家族がいるので「支え合い」はとりあえず大丈夫だと思いますが?**
A 支え合い活動や、明るく楽しい地域づくりは、近所同士の助け合いとボランティア活動で成り立っています。活動を無理強いはいできません。でも、人は誰でも歳をとります。今は大丈夫でも助けが必要になる不安は誰にもありますよね。みんなが取り組み、支えたり支えられたりしながら「支え合いのまち」をみんなで築いていくということが大切なのではないでしょうか。それが介護保険制度を守ることもつながります。

三芳町の発展を支えた働き盛りの人の山が、高齢層へと移行!! いよいよ取り組みたい「元気長持ち化(健康寿命の増進)推進策!!

●人が歳をとるのは自然のなりゆきです。長生きするのも元気の証しです。しかし、年齢層のバランスが偏るとそれに対応した地域社会のあり方が必要です。高齢者も支え合うことで明るく元気に活動でき「健康寿命」が延びます。すすめよう!支え合いのまちづくり!!



発行/ささえあい・みよし (三芳町生活支援体制整備推進協議体)
事務局:三芳町役場健康増進課 / (社)三芳町社会福祉協議会
お問い合わせ:049(258)0122 (三芳町社協)

「成り立ち」と「活動」紹介

(三芳町生活支援体制整備推進協議体)

♥高齢者の健康寿命を延ばし、住み慣れた地域で支え合いながら楽しく暮らせる「支え合いのまちづくり」を目指す「ささえあい・みよし」の活動概要を紹介します。

★1年間の準備会議を経て、翌平成28年6月「町をあげてみんなで支え合うまちづくりフォーラム」を開催！300名に迫る参加者の熱気の中、「ささえあい・みよし」(三芳町生活支援体制整備推進協議体)がスタートしました。



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん。

◀フォーラム冒頭、この活動の中心的役割を担う生活支援コーディネーター・関口(社協)が基本説明を行った。



▶公益財団法人「さわやか福祉財団」の堀田力会長が「支え合い」の重要性を力説。



支援活動の創出

「ささえあい・みよし」毎月の定例会議

「ささえあい・みよし」は毎月1回定例会議で、高齢者の住み慣れた地域での生活支援体制を整備・推進するための協議を行っています。生活支援コーディネーター(町から社会福祉協議会に委託)を中心に、委員たちが真剣な協議を重ねています。



▼委員は自由な立場なので、挙手が揃わないこともある。▼むずかしい協議課題に、委員は考え込むことも多い。



支援活動

「ささえあい・みよし」いろいろな作業部会

定例会議のほか、活動計画で決まった作業を分担する、専門の部会があります。



わかりやすい資料を作るのって、とってもむずかしいね……

←役場・健康増進課の前に設置してある掲示板。天井まで届きそうな高さだよ。

リーフレット(広報)部会

「支え合いのまちづくり」を多くの皆さんに伝え、理解して、活動していただくための、「リーフレット」などを作成しています。

社会資源マップ部会

健康体操、食事会、カラオケ、おしゃべり、趣味の集い…、そのほか、地域にある楽しい居場所(社会資源)を集めた「お楽しみ事典」のようなマップを製作中です！



行ってみよう！楽しい集まりがバツと見つかるよ！

平成29年2月 [北永井三区でW・S開催]

「支え合い」活動を地域で始めるには、地域住民の気持ちが盛り上がるのが第一！北永井第三区区長がささえあい・みよし委員というご縁で、第1回「支え合い活動創出W・S」を北永井第三区で開催させていただきました。



地域に欲しい「助け合い」を書き出して、「どうすれば創れるか」を検討してみる。

「集会所を開放します」が誕生!

北永井三区では、W・Sから数度の会議をかさね、住民の力だけで、住民が自由に集まれ、自由に集めることができる居場所「集会所を開放します」が結実!



◀工作・手芸・味噌づくり・うどんづくり・将棋…etc. 広さとマナーが許す限り、制約無くなんでもできる。ここに来れば「誰かがいて」「なにかができて」「楽しくいられる」居場所。ポスターも手作りだ!

平成29年12月 [藤久保一区でW・S開催]

生活支援コーディネーター・関口の働きかけと地区住民の需要がマッチして、「支え合いW・S」の2番目開催地区は藤久保1区に！初回は他地区からの見学もあり大賑わい!!



▼カードを手にする、いつの間にか支え合いの仲間になっている。



▼うまく発表できなくても、みんなと一緒にやると楽しい。

「なかよし」が誕生!

地域にはそれぞれ個性がある。「ささえあい・みよし」は側面から見守るだけ。そんな中、藤久保一区で誕生したのも偶然にも「居場所・なかよし」。でも中身は「藤久保一区らしさ」がたっぷり!



▼こっちは百人一首で「坊主めぐり」だ——ッ!!!

★ミニ解説★ *「W・S」(ワークショップ) 参加して疑似体験しながら、興味のあることに触れてみる集いのこと。自分の悩みや意見も話せる機会があるので、なにか始める前の「きっかけ作り」としても楽しめる。